

日本と EU ー直接支払制度と環境支払制度と GAPー

日本で本格的な GAP 普及がスタートしてから 10 年余りが経とうとしています。その間、業界標準 GAP を創るべく日本 GAP 協会が設立され、JGAP 認証制度が始まりましたが、一方でその後も多様な GAP が次々と登場し、その内容や目的も多岐にわたっています。

現在、政府・与党を中心に日本型直接支払制度（多面的機能支払）の新設が議論されています。国土保全や水源涵養、集落機能など、農業・農村が果たしている多面的機能を維持することに対して農業者に直接支払する制度であり、さらに促進を図るために環境保全型農業直接支払の改定も同時に審議が進んでいます。

上記のどちらも源流としては EU の取り組みがモデルとして参考にされてきました。EU の直接支払制度はクロスコンプライアンスとセットになっており、支払いを受けるためには GAP の実践が要求されていると説明する研究者もいます。また、これとは別に環境支払制度があり、そこでも GAP のようなチェックリストがあります。

日本では、“GAP と呼ばれているもの” について情報が錯そうしており、それが日本の GAP 普及の軸足が定まらない最大の原因であると思います。GAP 普及の公益団体である日本 GAP 協会として、日本と EU で“GAP と呼ばれているもの” を改めて整理する機会を作りたいと考え、このたびの講演会を企画しました。

正しい GAP 普及のために不可欠な情報になると思います。ぜひ、ご来場ください。

■基調講演：「EU の直接支払制度・環境支払制度とクロスコンプライアンス／GAP」

学習院女子大学 莊林幹太郎・教授

経歴：1982 年に農林省入省。その後、世界銀行、OECD 食糧農業水産局などを経て現職

■講演：「日本型直接支払制度（多面的機能支払）と環境保全型農業直接支払 最新動向」

講演者 農林水産省

■パネルディスカッション：「日本の農業環境政策と GAP の方向性」

JC 総研の和泉真理様にも加わって頂き、登壇者と参加者の皆さんで質疑応答・議論します。

★講演会終了後 18 時から同会場にて懇親会を行います。あわせてご参加ください。

日時	2014 年 1 月 16 日 16 時 00 分から 17 時 45 分 (同日 13 時より、同会場で日本 GAP 協会臨時総会も開催されます)
場所	千代田放送会館 (千代田区紀尾井町 1-1 TEL: 03-5210-4306)
参加費	3,000 円 (日本 GAP 協会会員は、共通割引券を利用した場合は無料になります)
参加申込	申込専用ホームページ (http://jgap.jp) または 裏面の参加申込書を活用し、1 月 10 日までに参加お申し込みください。
担当	佐藤 TEL: 03-5215-1112 / info@jgap.jp

『第14回グリーン購入大賞』

優秀賞受賞

※ 環境保全型農業を拡大していく仕組みとして機能している点が評価されました。

まじめで意欲のある農業者が正しく評価される社会を創る

日本農業の応援団

JGAP

特定非営利活動法人 (NPO 法人) 日本 GAP 協会

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3番29号

日本農業研究所ビル 4 階

TEL 03-5215-1112 / FAX 03-5215-1113 <http://jgap.jp>